

公益社団法人日本医師会  
会長 中川俊男 殿

## 遷延する症状を訴える方への診療体制構築について協力の申し出

全国有志医師の会  
代表 藤沢明德

謹啓 貴会におきましては国民の健康、人間の尊厳が大切にされる社会の実現を目指す法人として益々ご発展のこととお慶び申し上げます。また、貴会ならびに会員の医師の皆様の日々を問わないご尽力により、本国で安全・安心な医療体制が提供され、国民の健康が守られていること、心よりお礼申し上げます。

今回、令和4年3月24日に厚生労働省から出された「健健発0324第11号 遷延する症状を訴える方に対応する診療体制の構築について」の通達に関して、当会から貴会へ、僭越ながら診療体制の構築について協力を申し出たいと考え、本書面を送らせていただきました。

私ども「全国有志医師の会」は、新型コロナウイルス感染症に関する現行の感染症対策、新型コロナワクチン接種事業の改善を求めて、立ち上がった医師の団体になります。令和3年11月に北海道から有志医師の会が発起され、全国の地域に波及し、その流れから令和4年2月に全国有志医師の会が設立されました。当会は、医師：308名、歯科医師：148名、看護師：331名、その他医療従事者を含めて1104名（※令和4年4月4日時点）の医師を中心とする医療従事者の団体です。

当会会員の中には、新型コロナワクチン接種後、原因不明の慢性的な症状で悩み受診される方を数多く診療してきた医師も在籍しており、多くは開業医として日々診療にあたっております。

新型コロナワクチン接種後に遷延する症状を訴えられる方が多くいらっしゃり、問題になっていることは、今般の国会質疑からも明らかになってきております。第77回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会資料より、関連部分を要約、抜粋したものを下記に掲載いたします。

「・接種後、何ヶ月にもわたり、様々な症状に悩まされている方の声を聞く。例えば、頭痛や吐き気が続いて通勤や通学ができない方、全身のしびれや発熱が続き日常生活に支障をきたしている方、記憶に障害が生じて学校の成績が急激に下がった方などの話を耳にすることがある。」

「・患者さんが窓口をたらい回しにされて、不安なまま過ごしているという話を聞く。市町村に相談するとかかりつけ医に相談しろと言われ、クリニックでは分からずに、かかりつけ医から紹介されて大学病院に行く。大学病院ではあらゆる検査を受けるが、異常が見つからない。気のせいではないかとの結論を出されて帰ってくる。症例数がどのくらいあるかは分からないが、こういうことで悩んでいる方が多い

ことは確かである。」

こういった状況の中、令和4年3月28日の参議院決算委員会で、本件に関する質疑において、岸田文雄総理大臣からも「悩まれている方に寄り添うことは大切、ワクチンとの因果関係の有無にかかわらず希望する方が医療機関を受診できる体制の確保を目指す。」と答弁がありました。

当会では、首相のご発言の通り、希望する方が医療機関を受診できる体制の確保とその診療の発展と質の向上を目指しております。上記のような患者を先だてて診療してきた医師主導の下、接種後の遷延する症状を訴える患者の症例検討を行っております。また、そのような訴えを持つ方を診療している医療施設をデータベース化する取り組みが進んでいることから、先の通達にあった診療体制の構築の一助としていただきたく存じます。

貴会との心ある連帯の下、全国で遷延する症状を訴える方への診療体制の構築が進むことを強く願っております。つきましては、貴会と当会の緊密な協力体制を作るにあたり、ご意見をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

謹白

#### **全国有志医師の会 連絡先**

全国有志医師の会 代表 藤沢明德

住所：〒089-3314 北海道中川郡本別町南1丁目6番地10 ほんべつ循環器内科クリニック

電話：0156-22-8888 電子メール：[vmed.japan@gmail.com](mailto:vmed.japan@gmail.com) ウェブサイト：<https://vmed.jp/>

添付資料： 健健発 0324 第11号 遷延する症状を訴える方に対応する診療体制の構築について